

入院のご案内

入院生活に必要なことがまとめてありますので、

患者様とご家族様で一緒にお読みください。

私たちは、患者様の入院を共に支えてまいります。

入院病棟・担当者

入院する病棟_____病棟 部屋_____号室

担当医_____ 担当医の不在日_____ 曜日_____

病棟科長_____ 担当看護師_____

担当介護職員_____ 担当相談員_____

理学療法士(PT)_____ 作業療法士(OT)_____ 言語療法士(ST)_____

(リハビリテーションは病棟によって実施しない場合があります)

入院時に必ずこのパンフレットをご持参ください



医療法人尚寿会 狹山尚寿会病院



ご入院なさる皆様へ

尚寿会なら何とかしてくれる

～優しくなければ医療ではない～

これが私たちの存在価値です。

当院は2024年6月に、旧大生病院（1979年2月開院）と旧あさひ病院（2004年開院・2015年認知症疾患医療センター拝命）が統合し、狭山尚寿会病院となりました。

埼玉西部地区において、質の高い回復期から慢性期医療、そして認知症医療を提供しております。治す医療と同様に支える医療にも重きを置いています。

在宅復帰を目標と致しますが、長期間にわたり病状改善が困難な患者様にも、医療・看護・介護が一体となって寄り添って参ります。

少しでも良質な人生を送って頂けるように凡事徹底して参ります。

病院長 審積 英彦

目 次

● 狹山尚寿会病院の理念と活動方針	P2
● 入院手続きと当日の持ち物	P3
● 入院費のお支払いについて	P6
● 日常生活上のサービスに係る費用・主な料金について	P8
● 入院中の生活について	
治療・看護・介護 病状説明	P9
付添い・食事・リハビリテーション・レクリエーション	P10
面会・外出・外泊・他医療機関受診について	P12
家屋評価について	P13
● 迷惑・危険行為の禁止	P14
● 緊急時・災害についてのお願い	P14
● お薬についてのご案内	P15
● 院内案内図	P17
● 医療相談室について	P19
● 患者サポート相談窓口のご案内	P19
◇別紙 各病棟追加資料	

狹山尚寿会病院の理念と活動方針

法人の理念

信頼と愛とで築く地域医療

病院のスローガン

尚寿会なら何とかしてくれる
～優しくなければ医療ではない～

基本方針

1. 回復期から慢性期、そして認知症医療を中心に、質の高い医療・看護・介護を提供します。
 - ・診療について、納得のいく説明をします。
 - ・より良い医療が行われるように、常に学習・共育を行います。
2. 地域のニーズに寄り添います。
 - ・サステイナブル（持続可能）な地域医療を確立します。
 - ・新たに提供できるコト医療を模索し続けます。
3. 在宅医療を重視し、認知症に対しての看護・介護方法を支援します。
4. 患者様の人生が最後まで豊かであるように、その権利・意思を尊重します。
5. 終末期においては、患者さん・ご家族が残された日々を安心して過ごせるよう最良の支援をします。

権利憲章

- 【公 平】 適切な医療を平等に受ける権利があります。
- 【情 報】 説明と同意に基づいた医療の提供を受ける権利があります。
- 【選択権】 当院の診療に対し、他の医師や医療機関の意見（セカンド・オピニオン）を参考にする権利があります。
- 【自己決定】 自らの意思で医療の内容を選択する権利があります。
- 【開 示】 自らの診療情報の開示を求める権利があります。
- 【守 秘】 プライバシーが保護される権利があります。

入院手続きと当日の持ち物

入院受付場所

外来受付（B棟）にお越しいただき、お声がけください。

患者様は職員がお迎えにあがります。その後、ご家族様は入退院センターにて入院手続きを行っていただきます。

入院時にお持ちいただくもの

マイナンバーカードまたは健康保険証（資格確認書）

介護保険証、限度額適用・標準負担額減額認定証

身体障害者手帳及び心身障害者医療費受給者証

指定難病医療受給者証及び自己負担上限額管理表 等お持ちの保険証全て

お薬手帳・お薬（持参薬）

その他（ ）

入院セット・おむつセットについて

当院では、患者様の療養環境の衛生管理・安全管理と、ご家族様の洗濯や準備などお手間の軽減を目的として、入院生活に必要な病衣・タオル・日用品・紙おむつ類の提供を「株式会社ウエスト」に委託しております。セット料金での請求となり、患者様の病状や使用状況により金額が変動することがありますのでご了承ください。
詳しくは（株）ウエストにご相談ください。

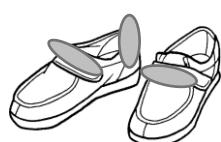
【入院Aセットご利用の方は、下記ご持参・ご記名ください】

リハビリシューズ（サンダル・スリッパ以外）

1足 2足

当院で購入可能です。

ひも付きのスニーカー、バレエシューズはご遠慮ください。



充電式電気シェーバー（男性のみ）

当院で購入可能です。

充電式で水洗いできるものをご用意ください。



□不織布マスク（サージカルマスク）1箱 ※B棟入院の方のみ
入院中の補充もお願いします。
※C棟入院の方は、異食等の防止のため、マスクはお持ちいただいておりま
せんが、感染防止対策上必要な際は、院用を使用する場合もございます。
※院用を使用した場合は、請求させていただきますのでご了承ください。

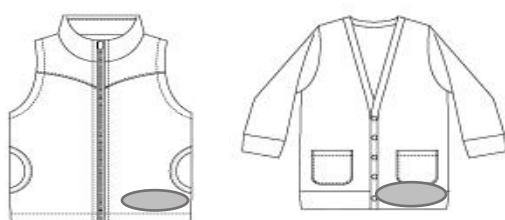
□袋1枚（エコバックや紙袋等でも可）
患者様が着てこられた洋服や靴等をお返しする際に使いますので、適當な
大きさのものをお持ちください。

【入院Bセットご利用の方は、下記ご持参・ご記名ください】

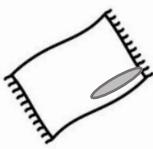
□入院Aセットと同じ
□肌着 3～5枚
着脱しやすい物、かぶりや前開き等、種類は病棟にご相談ください。
□下着（パンツ・ショーツ・ズボン下等） 3～5枚
オムツ使用の方は持参していただきなくても結構です。
必要に応じてご用意ください。
□靴下 4～5足（ピンク・水色・グレー以外）
履かせやすいもの



□季節に応じた羽織物 1～2枚
衣類のボタンは誤飲の可能性があるため、ご遠慮ください。
フリース素材がお勧めです。



□ひざ掛け 必要に応じてご用意ください。



□洗濯物入れ用の蓋付きバケツや容器（洗濯物がある場合）

衛生管理上（感染防止対策）の観点から、週2回以上（3日～4日に1回程度）の洗濯物の引き取りをお願いいたします。

【入院セット・おむつセットを変更する例】

- 病状や日常生活動作が変化したとき。
- 当院入院時に、入院前（前院やご自宅）の病状や日常生活動作が変化し、今まで使用されていた日用品・衣類・おむつの種類と異なる場合。
- 感染症に罹患した、または病棟内の感染症発生時やその可能性がある場合。
- お持ち込み品が不足し、やむを得ず使用する場合は、入院セットを使用させていただき、ご使用になられた利用日数分（日額）を請求させていただきます。
予めご了承ください。

【お願い】

- お持物については、の部分に必ずお名前をフルネームでご記入ください。
- 入院時に着用の衣類は、病棟の管理上全てお持ち帰りください。但し、すぐに服の着替えが難しい方については、後日お返しとなります。
- 原則、現金、貴重品はお持ちにならないでください。
万一、盗難や破損があった場合、当院では責任を負いかねます。
- 私物、持ち込み品の管理は全てご本人及びご家族様管理です。破損や所在不明になった場合等の責任は負いかねますので、ご了承ください。

入院費のお支払いについて

入院費は、毎月月末締めの翌月10日以降のお支払いになります。

領収書は確定申告の際に必要となりますので、大切に保管してください。

領収書の再発行はいたしておりません。

お支払いは下記の方法がございます。

1. **口座振替**（事前の手続きが必要な為、窓口にてお申し込みください）

毎月28日 自動引落（休日の場合は翌営業日になります）

①端末・・・キャッシュカードをご持参ください。

（暗証番号の入力が必要です）

②専用用紙・・・振替口座の通帳と届出印をご持参ください。

（※手数料は当院で負担いたします）

2. **銀行振込**（事前の手続きが必要な為、窓口にてお申し込みください）

当院指定の口座へ、患者様のお名前でお振込をお願いいたします。

（※手数料はご負担ください）

3. **窓口支払い** ※下記クレジットカードのみご利用可 現金はお受けできません

（VISA・JCB・Master・アメックス・ダイナース・ディスカバー）

（期間）翌月10日から月末までのお支払いをお願いいたします。

例：5月15日入院の場合→5月31日で締め、会計は6月10日から6月30日まで

（時間）午前8時45分から午後4時30分

（月曜日～土曜日 尚、土曜日はB棟窓口となります）

※日曜、祝日（年末年始・土曜の祝日を含む）の窓口支払いはできません。

※請求書の郵送はしておりませんので、お電話又は受付にてお問い合わせください。

（個人情報保護法の適用により、お問い合わせは支払責任者の方に限らせていました）

だいております。支払責任者以外の方のお問い合わせには、支払責任者の承認が必要になります。予めご了承をお願いいたします。）

※当院では保険証等をお預かりすることはありません。お支払いの都度、マイナンバーカードまたは保険証（資格確認書）にて確認をさせていただいておりますので、必ずお持ちください。

口座振替・銀行振込をご利用される方へ

- 領収書は次月の請求書郵送時（10日以降発送）に同封いたします。
- 健康保険証（資格確認書）やご住所等の変更がある場合は、必ず入退院センターまでご連絡ください。（代表電話 04-2957-1141）

入院誓約書の極度額について

2020年4月の民法改正により、「保証人が支払いの責任を負う金額の上限」を定めることが必要となりました。「入院誓約書」のご記入にあたり、極度額は連帯保証人ごとに100万円とさせていただいております。

日常生活上のサービスに係る費用・主な料金について

2025年6月1日現在（税込価格）

入院時検査代 ※ (主治医の指示による 右記検査は一例)	下記検査の場合 6,600円 (梅毒検査、HBs抗原・抗体、HCV抗体、MRSA、血液型)
レクリエーション費	330円/日
おやつ代	165円/日
テレビ代	330円/日
散髪代	カット 1,580円 カラー 3,400円 等
診断書（施設入所用・書類指定なし等）	3,300円
診断書（生命保険・身体障害者診断書・意見書等）	5,500円
入院証明書	1,100円
おむつ使用証明書	1,100円
身体障害者用診断書	5,500円
死亡診断書	11,000円（2通目から3,300円）
死後処置料	44,000円

※入院時検査は、患者様の状態把握を行うことを目的としていますが、患者様が感染の恐れのある疾患に罹患していないかを確認し、万が一罹患していた場合の他の患者様やスタッフへの二次感染を予防するためにも実施しています。

●料金に関しては、変更する場合があります。入院診療費の内容やお支払い方法等で、ご不明な点がありましたら、入退院センターまでお問い合わせください。

●支払いが滞り、当院からの再三の支払い請求にもかかわらず、お支払いいただけない場合には、医療費未収金回収業者委託先である「ライズ」よりご連絡させていただくことがあります。

診断書・証明書のお申込みについて

診断書・証明書等の作成をご希望の方は A棟1階入退院センター（土日祝はB棟1階外来受付）へお申込みください。（受付時間 8:45～16:30）

申込者が本人または連帯保証人以外の場合は、患者様からの委任状及び代理人の方の身分証明書（運転免許証、マイナンバーカード等）が必要となります。

入院中の生活について

治療・看護・介護

「信頼と愛とで築く地域医療」の法人理念に基づき、患者様の1日も早い病状の回復や安定、日常生活の自立、快適な療養生活の支援に向けて、患者様一人ひとりの関わりを大切にし、治療、看護、介護させていただきます。

患者様の状態に応じた治療・看護が行われますので、患者様の状態によっては病棟や主治医が変わる事もあります。

ご家族様へのお願い

患者様、特にご高齢の方は新しい環境にじむ事が難しく、病気に対しての抵抗力・回復力が低下しているため、常に病状変化を起こしやすい状態にあります。経過が長引き、重症に移行しやすい事をご理解ください。

例として

- ① 入院という環境変化から、発熱、食欲不振、認知症等の症状が見られることがあります。
- ② 狹心症、心筋梗塞などの既往のある方は、突然発作を起こす事があります。
- ③ 骨がもろく、骨折しやすくなっています。ベッド生活に不慣れな為の転落、昇降時の踏み外し、寝返り、廊下等でのちょっとした足のよろめきによる転倒などが考えられます。

●病状に大きな変化が起きた時には、病棟から電話連絡いたします。昼夜ともに連絡の取れる連絡先をお知らせください。着信があった場合は、折り返し連絡をお願いいたします。

●連絡先の変更があった場合は、直ちにお知らせください。

病状説明

入院後は適宜、治療方針や病状説明を行っております。説明を希望される場合はお申し出ください。尚、事前にお時間のお約束をいただくことができれば、より詳細な説明が可能です。

お電話による病状についてのお問い合わせはご遠慮ください。

付添い

付添いは原則行っておりません。但し、患者様又はご家族様が希望し、医師が医療上必要と認めた場合のみ許可いたします。その際は「付添い許可願い」の提出をお願いいたします。

食 事

栄養状態を良好に保つために、医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、言語聴覚士などが協力して栄養管理を行っていきます。医師の指示のもと、病態に合わせた食事を提供しておりますが、食事が硬くて食べにくい、体調によって食べられない食材があるなど、食事でお困りのことがあれば、看護師や栄養士にご相談ください。

リハビリテーション ※病棟によって異なります

医師の指示のもと、患者様の病状に合わせてリハビリテーションを行います。理学療法士（PT）、作業療法士（OT）、言語聴覚士（ST）、マッサージ師などの専門性を活かし、健康と療養生活、家庭復帰、在宅ケアを支援します。

レクリエーション ※病棟によって異なります

日中はできるだけホールで過ごしていただく為、レクリエーションを企画しています。

基本的な入院生活の1日

起 床	6時
食 事	朝食8時　　昼食12時　　夕食18時
検 温	10時と必要時
検 査	患者様の状況に応じて
リハビリ	患者様の状況に応じて
レ ク	患者様の状況に応じて
清潔ケア	週2回（入浴または清拭を行います）
排泄ケア	定時交換、隨時交換、トイレ誘導を患者様に合わせて行います
消 灯	21時

携帯電話のご利用について（※C棟はお持ち込みいただけません）

院内可能エリア及び病棟内可能エリアにてご利用になれます。利用方法については病棟スタッフにご確認ください。利用・管理は患者様ご本人でお願いいたします。尚、病棟、病室にフリーWi-Fiはございません。

テレビ利用について

テレビを希望される場合は、お申し出ください。ご利用の際はイヤホンをご使用ください。

感染予防について

私物の衣類や寝具が吐物・排泄物等で汚染された場合は、ご家族様への連絡の上、感染防止のために処分させていただくことがあります。

お願い

患者様の故意・過失を問わず、また、認知症の行動による場合であっても、医療機器、備品、設備等を損壊した場合には、患者様本人、連帯保証人の責任において、全額または一部弁償していただきます。

面会について

面会時間 13:30~16:00

C棟は予約制です（お電話にてご予約ください）

C棟面会の詳細は別紙「面会サービスのお知らせ」をご確認ください

- 患者様の治療と安静のために、面会時間をお守りください。
- ご面会の際には面会票にご記入ください。
- 食べ物の持ち込みは、原則禁止です。病状により、主治医が許可した場合のみ可能です。看護師にご相談ください。
- 患者様同士の飲食のやりとりはご遠慮ください。
- 私物については病棟職員にご確認ください。尚、私物の管理はご本人、またはご家族様でお願いいたします。紛失・破損等責任を負いかねます。
- 面会前には正面入口にて体温測定と消毒を行ってください。発熱、風邪症状がある場合は、面会をお控えください。
- 院内ではマスクを着用してください。
- 面会中止、再開等の情報はホームページをご確認ください。

外出・外泊について

- 外出や外泊をご希望される場合は、事前に医師の許可が必要です。
「外出・外泊届」の提出が必要ですので、看護師にお申し出ください。
- 外出の際には、ナースステーションにお寄りください。許可証、内服薬等をお渡しします。
- 外出・外泊の際は、その都度私服をご用意ください。

入院中の他医療機関受診について

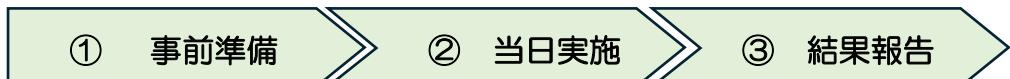
入院中、他の医療機関を受診することは、主治医の了承なくできません。ご家族様のみが行かれる場合も、必ずご相談ください。受診先に提出していただく書類等があります。病院に届出をしないで、他の医療機関を受診された場合は、その医療費は実費となり患者様のご負担になることがありますので、ご注意ください。

家屋評価について

家屋評価とは、患者様やご家族様を中心に在宅生活に向けてサポートをする仕組みの一つです。患者様の自宅をリハビリスタッフ・ケアマネジャー・福祉用具相談員・看護師・ソーシャルワーカーなどの専門職が訪問して、家の中の動きやトイレ、入浴、家事などの動作を直接確認します。必要な場合には、住宅改修や福祉用具の導入、介助方法などの提案も行います。

病気やケガをした患者様は、以前と同じように体を動かせなくなることがあります。実際に住んでいた場所で動作の確認をすることで、様々な課題点が見つかります。

家屋評価の進め方



- ① 事前準備 患者様やご家族様に対して、自宅退院に向けて必要な動作や補助具などを聴取し、実際にリハビリで練習を行います。
- ② 当日実施 当日は多職種協働で家屋評価に参加します。実際の家屋環境の確認や、動作が安定して行えるかなど評価します。
- ③ 結果報告 ご家族様を含めた多職種で結果を共有し、退院に必要な動作や福祉用具を準備していきます。

注意事項

○事故防止対策

家屋訪問中は転倒の危険性を回避するため職員の見守り、誘導の下に行動していただくようお願いします。万が一、注意事項が守れず転倒された場合は、責任を負いかねますので十分ご注意いただきますよう、よろしくお願いします。

○家屋訪問時の交通費について

ご自宅へ訪問する際の交通費を患者様に負担していただいております。費用は入院費と合わせて請求させていただきます。

迷惑・危険行為の禁止

以下のような行為や、病院職員の指示等に従っていただけない場合は、退院していただくことや、必要に応じて警察へ通報する場合もありますので、予めご了承ください。

1. 病院職員や他の患者様等に対する暴言・暴力・セクシャルハラスメント等により、診療や業務に支障が生じる行為
2. 病院敷地内での飲酒、喫煙、宗教・政治活動 
3. 他の病棟・病室への理由なき入室や、他の患者様への迷惑行為
4. 病院内での許可のない写真・動画の撮影や録音
5. 特段の理由がなく自己負担金を支払わない行為
6. 症状に応じてご案内する地域の施設への紹介、転院や退院を特段の理由なく拒むこと

緊急時・災害時についてのお願い

地震・災害などの非常事態が発生した場合は、一斉放送でお知らせします。

職員の指示に従って避難してください。

※非常口については院内案内図をご参照ください。

ご家族様へ

災害発生時、安否確認のための病院への連絡はご遠慮ください。尚、尚寿会ホームページにて、隨時状況報告をいたしますのでそちらでご確認ください。

災害の状況や医師の判断にて、ある一定期間、ご家族様に介護をお願いする場合があります。ご協力お願いいたします。

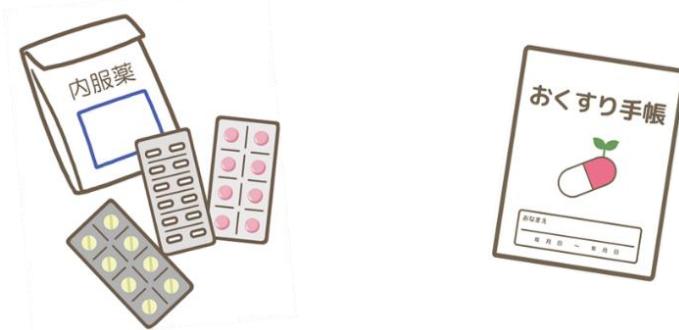
～お薬についてのご案内～

こんにちは狭山尚寿会病院薬剤科です。この案内は入院される患者様・ご家族様へ、大切なお薬についてのご案内となります。ご入院前またはご入院された後に一読していただけすると幸いです。

狭山尚寿会病院からのお願い



ご入院時には現在使用中のお薬とお薬手帳をお持ちください



持参していただいたお薬は、医師の判断のもと継続して使用させていただく場合があります事をご了承ください。

お薬手帳は確認させていただいた後にコピーをとらせていただきます。その後は患者様・ご家族様へ返却いたしますので引き続き大切に保管をして下さい。

お薬カレンダー等をご自宅で使用されていた場合は、ご入院時お知らせいただけると幸いです。その他お薬についてのご希望や疑問等ありましたらお知らせ頂けると幸いです。

当院はポリファーマシーへの取り組みを 積極的に行っております

ポリファーマシーとはポリ「複数」ファーマシー「調剤」からなる「害のある多剤服用」を意味する言葉で、特に高齢者の方には注意です。

※多くのお薬をお飲みいただいている事は問題ではありません。たくさんの薬を服用することで、体に何か悪さをしていないか・または飲み忘れ等が起きていないかを確認することが重要な取り組みとなります。

- 特にポリファーマシーに注意が必要な方
 - 1 生活習慣病の薬・睡眠薬・胃腸薬・下剤を複数服用されている方
 - 2 薬が多くて飲み忘れが起きてしまう方
 - 3 副作用が起きているのではないかと心配な方
 - 4 複数の医療機関に通っている方



高齢者の方は、複数の持病を持つ方も多く、病気の数だけ処方されるお薬も多くなってしまう傾向があります。70歳以上の高齢者の方では6種類以上のお薬を使われる方も珍しくありません。

加齢によっては体の代謝が低下してしまい、薬の効き方も変わってきます。そんな中、薬が増えすぎてしまう（特に6種類を超えてくる）と体に良くない事（副作用）が起きてしまう人が増えてくることが分かっています。

そこで当院では、医師・薬剤師が協同し、お薬によって何か有害な事が起きていないかを入院時から確認し、変更が必要であると判断された場合は、適宜患者様とも相談をさせていただきつつ、適正な処方となるように努めて参ります。

薬剤師から入院時や入院中にポリファーマシーについての説明やお薬の提案についてお話をさせていただく場合もございます。ご入院の間にご不安・ご不明な点等がありましたら、いつでも担当薬剤師にご相談下さい。

薬剤科

病院案内図

C棟 4階東病棟（認知症治療病棟）



C棟 4階西病棟（特殊疾患病棟II）

C棟 3階東病棟（特殊疾患病棟II）

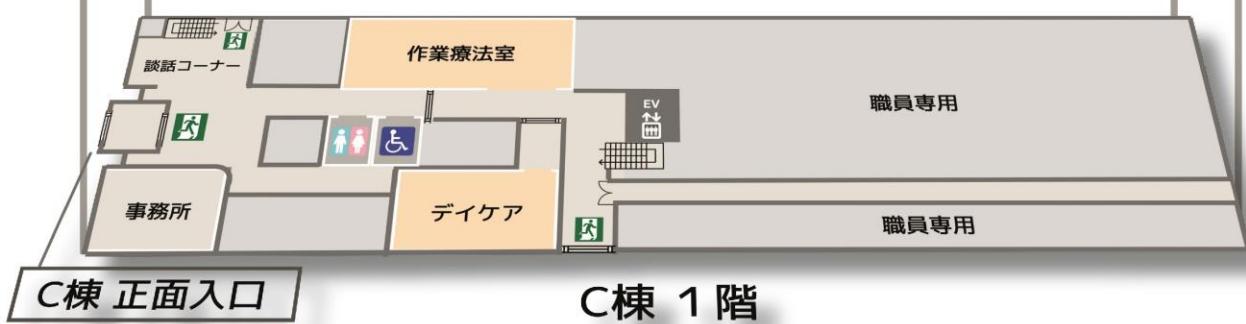


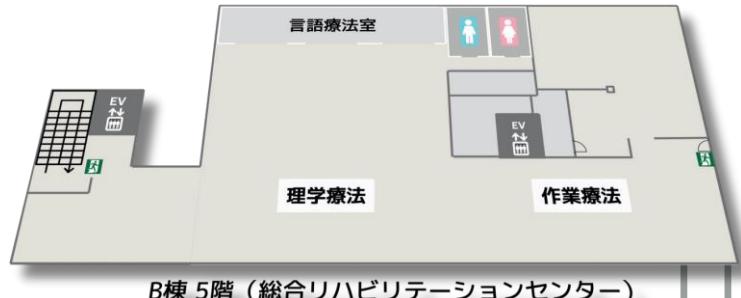
C棟 3階西病棟（特殊疾患病棟II）

C棟 2階東病棟（精神療養病棟）



C棟 2階西病棟（認知症治療病棟）





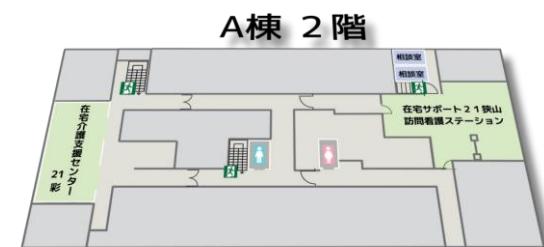
B棟 5階（総合リハビリテーションセンター）



B棟 4階西病棟（医療療養病棟）



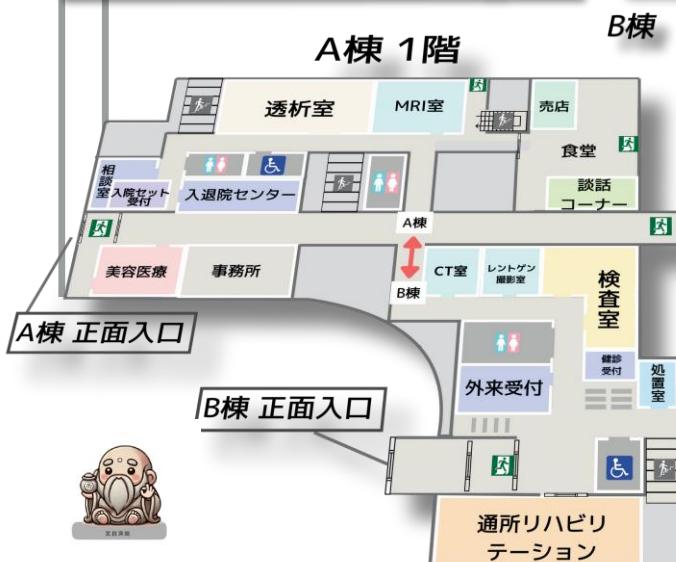
B棟 3階西病棟（地域包括ケア病棟）



A棟 2階



B棟 2階西病棟（医療療養病棟）



A棟 1階



B棟 1階

B棟 1階東病棟
(回復期リハビリテーション病棟)

医療相談室について

ソーシャルワーカーが患者様・ご家族様からの相談を承っております。お気軽にご相談ください。

- 入院生活・在宅療養について
- 医療費・経済的問題について
- 福祉制度の利用について
- 転院・退院について

医療相談室 04-2957-1141（代表）

相談受付時間 【月～金】9：00～17：00 【土】9：00～13：00
(年末年始・祝日は除く)

患者サポート相談窓口のご案内

病院スタッフが患者様やご家族様とより良好な関係を築くために、狭山尚寿会病院では、「患者サポート相談窓口」を設置しております。

入院中の患者様やご家族様の疾病に関する医学的な質問、並びに生活上及び入院上の不安等のご相談を受ける窓口です。どうぞお気軽にご相談ください。

患者サポート相談窓口は医師・看護師・薬剤師・社会福祉士が担当しています

ご相談窓口 電話または受付にお声かけください

TEL 04-2957-1141（代表）

ご相談可能時間 平日 午前 9:00～12:00

午後 13:00～17:00

ご相談内容につきましては、守秘義務を厳守し、ご相談されたことで患者様が不利益にならないよう配慮いたします。また、各棟正面入口、B棟一般来院者様用休憩スペース、C棟各階エレベーターホールに、患者様・ご家族様の声の投書箱を設置していますので、そちらもご利用ください。

医療法人尚寿会 狹山尚寿会病院

〒350-1317 埼玉県狭山市水野600番地

TEL 04-2957-1141

FAX 04-2957-1146

